

抗がん剤プロトコール 届け票

申請日	平成 2011 年 3 月 22 日	
申請者	所属科: 外科	医師名: 渡辺 康則 印
抗癌剤プロトコール内容		
略名	HXP(ハーセプチン+ゼロダ+シスプラチン)療法	
適応臓器名	進行・再発胃癌	
薬剤名	トラスツズマブ(HER)(商品名:ハーセプチン) シスプラチン製剤(CDDP)(商品名:ランダ注) カペシタビン錠(XEL)(商品名:ゼロダ錠 300)	
注意点	各薬剤の注意点を遵守すること。	
用法・用量・投与スケジュール		
<p>3 週(21 日間)を 1 コースとして繰り返す。</p> <p>day 1-14</p> <p>1) XEL として 2000mg/m²/day(体表面積)を分 2 で内服する</p> <p>day 1</p> <p>1) 前投薬: 5-HT₃受容体拮抗型制吐剤+デカドロン 8~20 mg を投与する*</p> <p>2) 補液 1000~2000 mL を 4 時間以上かけて投与する</p> <p>3) トラスツズマブ(ハーセプチン)として初回 8 mg/kg(体重)を日局生理食塩水 250 mL にて溶解し初回は 90 分かけて点滴静注する。</p> <p>2 回目以降は 6mg /kg(体重)を日局生理食塩水 250 mL にて溶解し、点滴静注する。</p> <p>初回投与の認容性が良好であれば、2 回目以降の投与時間は 30 分間まで短縮できる。</p> <p>4) CDDP: 80 mg/m²(体表面積)を 2 時間かけて投与する</p> <p>5) 補液 1000~2000 mL を 4 時間以上かけて投与する</p> <p>* 前投薬については必要に応じて、</p> <p>NK₁受容体拮抗薬アプレピタント(商品名:イメンド)を day1 に 120 mg, day2-3 に 80 mg/day を投与する</p>		
Evidence	① ToGA 試験(BangYJ, et al: Lancet 376: 687-697, 2010)	
備考		
がん化学療法委員会承認日: 23.5.17		